事業名：田んぼダムの普及促進
田んぼダム普及促進事業

資料4

令和4年6月定例会
常任委員会資料
農林部農地課

1　事業概要

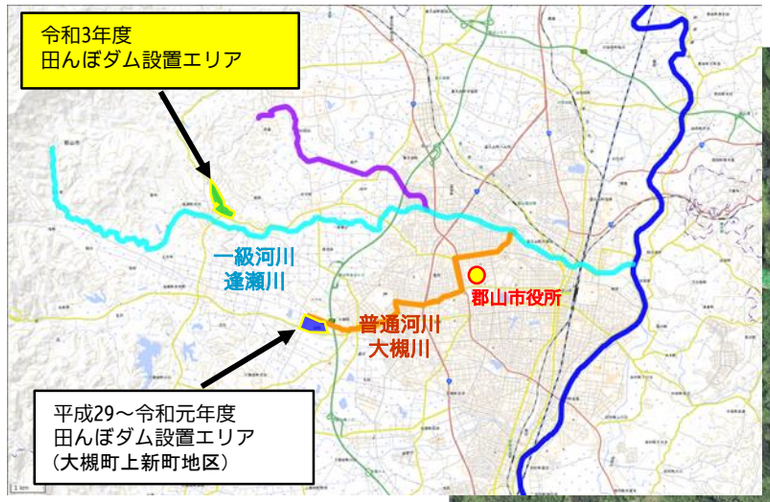
近年、増加傾向にある集中豪雨に備え、水田の多面的機能を適切に維持・管理するための支援を行い、一時的に雨水を貯留する「田んぼダム」の機能強化及び普及拡大を通じて、浸水被害の軽減に寄与する。

平成29年度　日本大学工学部と「水田の多面的機能実証事業」における連携協定を締結
　　協定に基づき「水田の多面的機能実証事業」を大槻町上新町の水田約6.6haで実施
令和元年度　実証事業完了
令和3年度　逢瀬町河内地区の多面的機能支払交付金活動組織と「田んぼダム」事業に関する協定を締結し、相互連携して普及促進を図る

2　活動内容

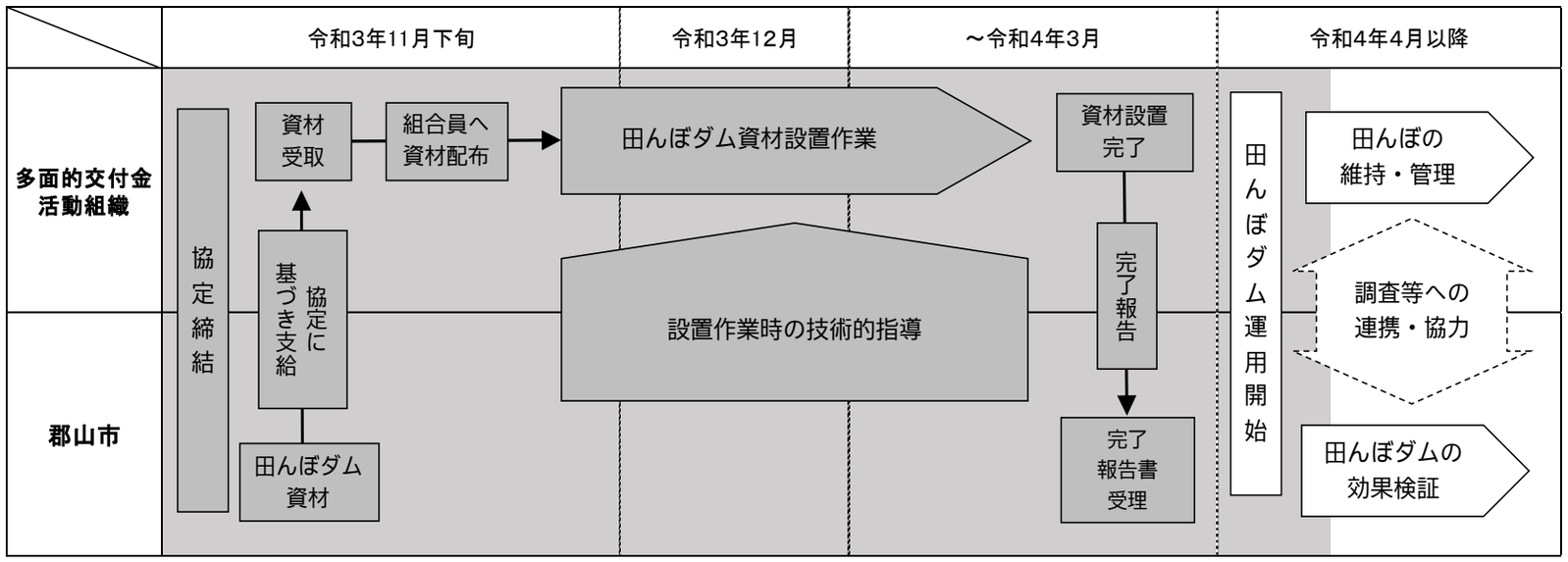
協定の相手方

(1)組織名称	河内故郷つくる会(こうずふるさとつくるかい)
(2)設立年度	平成19年度設立
(3)構 成 員	188名(農業者:101名　非農家:87名)
(4)活動対象農地面積	約118ha(水田:100ha　畑:18ha　草地:ー)
(5)活動対象農業用施設	水路:20.1km　農道:20.0km　ため池:2箇所
(6)流域河川	阿武隈川水系 一級河川 逢瀬川



対象区域（河内故郷つくる会）概略図

3　事業実績等

(1)田んぼダム(河内故郷つくる会)
①軽量落水桝 設置:105基
②設置水田枚数　:105枚
③取組水田面積　:29.8ha
※平成29年度からの大槻町上新町地区と合わせると、合計36.4haの水田での取組みとなる。

(2)スケジュール・進捗状況